

就任のごあいさつ

登別市長

お が さ わ ら は る い ち
小笠原 春 一



市民の皆さん、こんにちは。

8月28日に市長に就任させていただきました小笠原春一です。

今後4年間市政を担当させていただくこととなりました。課せられた責務の重さにあらためて身の引き締まる思いをいたすとともに、今回、わたしに寄せられた市民の皆さんのお心にお応えすべく、全身全霊を込めて努力をしなければと決意を新たにしております。

わたしは、昭和42年登別で生まれました。大学4年間を東京で過ごし、あとはずっと登別で暮らしている登別っ子です。このまちが大好きです。そしてこのまちの人が大好きです。

そんな大好きな登別を「もっと豊かなまちにしたい」「子どもたちの無限の可能性が花開くまちにしたい」「お年寄りが安心して生き生きと暮らせるまちにしたい」と、そんな思いで今回の選挙に臨みました。そして多くの市民の皆さんのご支持を賜りました。衷心より感謝申し上げます。皆さんのご期待に応えるよう『初心忘れず』の気持ちをしっかりと持ち続けようと思っています。

さて、皆さん。いま、登別市を取り巻く環境は、あらゆる面で厳しさを増しています。市の財政は、もとより、一向に上向かない市内経済、原油高騰に端を発した諸物価の値上がりで福祉や教育、医療など市民の暮らしにも影響が出始めています。

住民に最も身近な行政体としての市は、当面する課題に適切に対処することが求められていると同時に、未来に向かって持続的な発展を目指せるまちづくりの方向性を見いだしなければなりません。

わたしは、これらの政策課題に正面から取り組むとともに登別市が秘めた可能性を現実のものとするため、これまで民間で培ってきた経営の実践力と若い行動力を発揮して登別市の発展に尽くしたいと考えております。

そこで、すべての市民の皆さんに大事なことをお願いしなければなりません。

それは『市民力』の発揮であります。

まちづくりは決して市長や市役所だけが取り組むものではありません。まちづくりは、5万3千市民が総力をあげて取り組むその地域の歴史づくりであり文化づくりであり、そして何よりも幸せな暮らしづくりであります。

そのためには、市民一人一人がまちの現在を思い、まちの未来に思いをはせて、共に力を合わせる『市民力』の発揮が肝要であります。

わたしは、皆さんの先頭に立ってこの可能性あふれる登別市の発展のために前進したいと考えております。また、すべての市民が連携し『協働のまちづくり』を推進することができるよう、その要の役割を果たしていきたいと考えております。市民の皆さんのご協力とご支援をお願いいたします。